

# 桑

折町が三冠！第65回県市町村広報コンクールにおいて、

広報紙・一枚写真・組み写真の三部門で、県内一位となる特選を受賞しました。同コンクールは、平成31年に発行された広報媒体（41市町村103点）を対象に実施。特選作品は、県代表として、(社)日本広報協会主催の全国広報コンクールに推薦されます。

## あたたかい支えに感謝

まずは、日ごろ取材にご協力いただいている皆さん、読者の皆さんに、心より感謝を申し上げます。「今月の表紙、良かったよ」「来月号も楽しみにしてるね」中には「良い写真だったから、町外の友人にも見せたくて、広報紙を送ったよ」という励ましのおかけで、賞をいただくことができました。

## 主役は町の皆さん

今回審査員となった、福島民報新聞、福島民友新聞社の方々からは「ページをめくるたびに変化があり、めくる楽しみがある。写真が非常に美しく、住民の表情も良くとらえられている。バランスが取れていて、レイアウトも良い」と好評をいただきました。

「広報こおり」は、町の皆さんが主役の広報紙です。皆さんの活動や強い思い、地域への愛情がなければ、記事を書くことはできません。今回の受賞は、町の皆さんの魅力が紙面から飛び出して、評価された結果です。皆さんと一緒にとった三冠。このことを励みに、これからも、皆さんの頑張る姿や思いを伝えることに力を注いでいきます。子どもから大人まで一人一人にスポットライトを当て、皆さんの笑顔が生まれる「広報こおり」をお届けします。

### Special Feature

# 県市町村広報コンクール

# 三冠、全国へ



昨年8月に実施した桑折町暮らし体験事業に参加。6日間の体験を通して、桃栽培・販売を学ぶ

なお  
石井 奈央さん  
福島大学農学群1年

## 自分の思いが伝わった喜び

農業体験では、町の皆さんのあたたかさに触れ、とても充実した6日間を過ごすことができました。広報紙の写真を見ると、今でも鮮明に皆さんのことを思い出します。

学生の思いが詰まった、特集「気付きのススメ」。たくさんの友人や家族に「良い記事だったね」と声をかけてもらい、広報紙を通して、多くの人に自分たちの思いを届けられたのだとうれしくなりました。

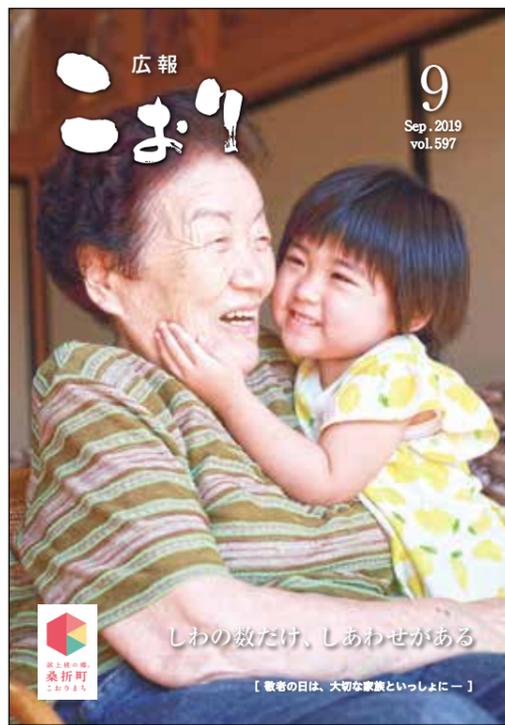
今振り返ると、桑折町にはアットホームな農園が多いと感じます。気さくで優しい人ばかりで、皆さんと一緒に栽培・収穫した果実は、本当においしくて格別な味でした。この体験を通して、果樹栽培や6次化産品などの視野も広がり、将来の選択肢も増えました。貴重な経験をさせてもらった、町の皆さんに「ありがとう」と伝えたいです。

【広報紙】町の農業体験に参加した大学生らが感じた「外から見た桑折町の良さ」とは。普段日常化してしまっている町の魅力を、町の皆さんにも考えてもらえるような問題提起型の特集にしました

### ■ 広報紙の部：10月号「気付きのススメ」



### ■ 一枚写真の部：9月号「表紙」



### ■ 組み写真の部：10月号「桑折西山城復元祭」



【一枚写真】敬老の日に合わせて、和泉恭子さんとひ孫の琴音ちゃんを撮影。縁側から差し込む光に照らされ、二人の表情が生き生きとした瞬間を撮りました。審査員からは「二人の視線のずれによって、おばあちゃんが主役となっている。素晴らしい表情」と評価されました【組み写真】桑折西山城復元祭にて、朝から晩まで2日間かけて、縦・横、広角・望遠など3,000枚以上撮影。インパクトのある写真や大胆なレイアウトを意識しました



表紙撮影のオフショット。ひ孫の光ちゃんを抱き満面の笑顔を見せる恭子さん

一生に一度の思い出  
9月号の表紙を飾った和泉恭子さんは「受賞の記事が新聞に載った日は、朝から一日中電話が鳴りやまなくて、久しく連絡を取っていなかった町外の友人からもお祝いの言葉をかけてもらった。町の皆さんにも『良い笑顔だった』『自分の孫を見ているようで懐かしくなった』などと言ってもらってうれしかった。一生に一度の良い思い出。ひ孫のためにも、もっとと長生きしたい」と喜びを語りました。